

2016年4月 2号

1400万円余の3D ザビエル像必要か？



2016年3月議会 松原のりかず 本会議討論

第1号議案 平成28年度岐阜市一般会計予算

- 本庁舎建設用地は隣接地が未取得・土壌調査もまだです。地形の定まらない段階での設計は、その設計に不備の恐れがあります。また、議会には、まだ市民の多様な意見が寄せられており、実施設計を急ぐ前に、計画の再点検の機会を大切にすべきです。

18階建て80メートルとの高層新庁舎基本設計案に対し、パブリックコメントでは40%の人から、高層ビルに対し反対もしくは疑問を呈する意見が出されています。市民の声を無視し、高層庁舎建設を強行する当局姿勢には、多くの市民の危惧の声が上がっています。

- 高島屋南再開発関連の予算があります。開発内容に、駐車場不便地の柳瀬中心地のビル内に子供用施設や健康等の公共施設を配置する計画があります。再開発によって「建設されるであろうビル」の複数階を取得しての計画の有用性を認められません。計画の再考が必要です。

- 「屋根に水溜りの残る」メディアコスモスは瑕疵問題で論議が出ています。この建築物は未完成品です。瑕疵部分の補修以前に、現行の管理費・維持費も建築業者が負担すべき状態です。

- 徹明小学校・木之本小学校の統合問題では、学校現場における統合宣伝の既成事実の積み重ねの経過に対し、議会軽視と指摘をせざるを得ません。

今回の統合問題では、統合準備委員会の審査過程から「統合新設校を木之本小学校の施設に置く」とする教育委員会の方針決定や、今日までの経過で、不可解、不公平、そして不透明を指摘してきました。すなわち、

- 1 児童数の多い小学校の方が当然短くなり、比較の意味を持たない「縦通学距離」を統合先の決定理由としている。
- 2 近い将来の人口予測に触れようとしない。
- 3 中心市街地への居住活性化、岐阜市のまちづくり最重点課題を完全無視。
- 4 4回もの住民説明会発言の住民意見を取り上げない。 裏面につづく

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

- 5 教育委員会方針が決定されただけで、「来年4月開校決定」との虚偽説明を繰り返し、住民、保護者、児童の意見・思いを押さえ込む。
 - 6 学校設置条例の改定（案）上程も無いのに、徹明小学校長は「統合新設小学校開校時期が平成29年4月になることが正式に決定されました」と発言。教育現場からの「議会の議決権軽視」。
 - 7 文部科学省の指摘する統合に関する留意点、すなわち、「地域住民や地域の学校支援組織と教育上の課題や、まちづくりも含めた将来ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ながら進めていくことが大切になってきます」との「住民合意」への不誠実、信義にもとる。
- 統廃合ありきの、強硬な教育委員会の姿勢は、子どもたちのための統合でなく、教育委員会のための統合との印象を与え、岐阜市の教育に大きな汚点と共に、禍根を残すと指摘し、徹明小学校・木之本小学校統廃合にかかる予算に反対します。
 - 教育予算に信長公450プロジェクト・フロイス像ザビエル像複製制作費が28年度29年度2ヵ年で1400万円余の内28年度630万円が計上されています。機械製造による製品とのことであります。給付型奨学金要望などの論議もある中で、教育予算の使い道として再考が必要です。第一号議案には反対です。



松原のりかず
☎058-253-2500